

酒田の甲冑・武具と 刀剣をめぐる人々



こんいとおとしもかみどうまる
紺糸威最上胴丸
(松山文化伝承館蔵)

平成26年

平成27年

11月29日[土]～2月8日[日]

開館時間

午前9時～午後4時30分

休館日

12月～3月は月曜日休館 (月曜が祝日の場合は翌日休館)
12月29日～1月3日は年末年始休館

入館料

一般 100円
小学生～大学生 50円 (土日は小・中学生無料)

酒田市立資料館

SAKATA CITY MUSEUM

酒田の甲冑・武具と刀剣をめぐる人々

昨年3月に生石の朝日山八幡神社より、朝日山城主・池田氏のゆかりの日本刀2振が資料館に寄贈されました。本展示では、寄贈刀や同神社より寄託されている甲冑など、酒田にゆかりある甲冑・武具の展示を行います。

原型がしのばれるものとして庄内最古といわれている、戦国時代の庄内の豪族・武藤氏が奉納した甲冑の残けつや、旧松山町（現・酒田市）に残る豪華な甲冑、戊辰戦争で活躍した萩野流砲術隊に関する資料もご紹介します。

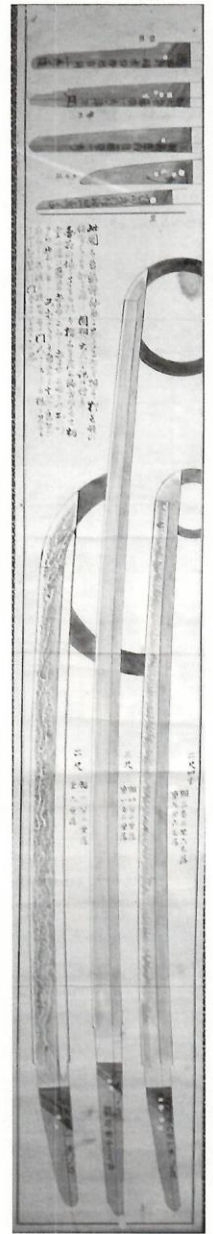
また、庄内は日本刀研究家として全国に名の知られた本間順治（薫山）、佐藤貫一（寒山）をはじめ、鑑定家の村上孝介や刀匠の池田一秀、池田靖光など、刀剣界の歴史に名を遺した人々を輩出しています。日本刀の伝統を守り、功績を遺した偉人たちの足跡を振り返ります。

▶朝日山城主・池田盛周の甲冑（朝日山八幡神社寄託）



▲朝日山城主・池田盛周の兜（朝日山八幡神社寄託）

▶刀 銘加州住陀羅尼橋勝国 鞘書 佐藤寒山



◀池田一秀が製作した日本刀の図（個人蔵）

協力者一覧（五十音順）

あいおい工藤美術館、阿部記念館、池田正子氏、小田公平氏、小野寺刀剣研磨処 小野寺一氏、工藤泰治氏、後藤秀之氏、東京国立博物館、八幡神社（亀ヶ崎）、八幡神社（矢流川）、松山藩萩野流砲術伝承保存会会長 小田和夫氏、松山文化伝承館、村上泰司氏、遊佐町教育委員会

Access Map



★講演会「酒田の古甲冑と武具」★

日 時：12月7日（日）午後2時～3時半

講 師：工藤幸治氏（あいおい工藤美術館 館長）

定 員：25名（要申込、定員になり次第締切）

料 金：無料（入館料別途必要）

※11月17日より申し込みを受け付け致します。

駐車場に限りがございますので、申し込み時にお問い合わせください。

問 TEL.0234-24-6544

次回企画展

こ ぎれ
雛 と 古 裂

～酒田雛街道～

— 押絵と創作人形 —

平成27年2月14日（土）～4月3日（金）

酒田市立資料館

〒998-0046 山形県酒田市一番町8番16号

TEL/FAX: 0234-24-6544

E-mail: sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp